

第4回御前崎市総合計画審議会 議事録

会 議 名	第4回 御前崎市総合計画審議会
開催日時	令和7年1月24日（金）午後11時00分～
開催場所	研修センター2階大研修室
出席者	【委員】出席18名 欠席2名 【事務局】4名 【委託業者】2名

議事

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 説明事項
 - (1)パブリックコメントの結果について
 - (2)総合計画基本構想（案）について
- 4 協議事項
 - (1)基本構想の答申について
- 6 その他

【資料】

- （配布資料1）パブリックコメントに対する回答・対応
（配布資料2）第3次御前崎市総合計画基本構想（案）

1 開会

事務局	皆さんこんにちは。 只今から第3次御前崎市総合計画における第4回審議会を開催させていただきます。 皆様方にはお忙しいところ参加いただき、ありがとうございます。 それでは次第に沿って進行させていただきます。市長ご挨拶をお願いします。
-----	---

2 あいさつ

市長	本日はお忙しい中、第3次御前崎市総合計画策定に向けた第4回の総合計画審議会にご出席いただきありがとうございます。皆様には、本市の総合計画策定について皆様のご理解、ご協力をいただきありがとうございます。 先般行われました、策定委員会にて基本構想の最終案を取りまとめましたので、本日の審議会でご審議いただければと思いますのでよろしくお願いします。 簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。
----	--

3 説明事項

(1)パブリックコメントの結果について

(2)総合計画基本構想（案）について

会長	事務局より説明をお願いします。
事務局	まず、資料1ですが、令和6年12月9日から令和7年1月7日の期間においてパブリックコメントを実施しました。期間中に2件の意見書をいただきました。その意見を一覧表にまとめましたので説明させていただきます。なお、パブリックコメントでホームページに公開した範囲としては資料2の1ページの序論から21ページの基本目標がめざすまちのイメージまでとなります。 まず、表紙になりますが、「なぜ“企画政策課”なのですか。パブリックコメントを求めるものは“御前崎市”であるべきではないでしょうか？議会や諮問機関はともかく庁内体制で策定されたものではないですか。」というご意見に対して、基本構想に関しては「議会」の議決を経て策定されるものであるため、現時点では「企画政策課」として、パブリックコメントを求めるかたちとしています。最終的には、議会の承認を経て「御前崎市」に変更となります、と回答・対応（案）を作成させていただいております。 続きまして、5ページになります。「評価・検証はそれぞれどのような基準で行うのですか。特に、令和7年度は？」というご意見に対して、「毎年、施策評価シートを作成し、進捗状況を把握するとともに、実施主体である各所属で評価を行い、PDCAサイクルを回すことにより本計画を推進します。また評価は3月と7月の2段階で評価を実施しています。令和7年度においても同様のスケジュールでの評価を予定しています。」と回答・対応（案）を作成させていただきました。 次に、6ページ、14ページ、15ページになります。「現状として令和6年度のデータ（速報値）を追加できませんか。」というご意見に対して、「直近の人口などを掲載する場合、住民基本台帳におけるデータを使用する事となります。将来人口などの推計

に関して、国立社会保障・人口問題研究所では、国勢調査の結果を人口推計に活用しているため、現状の人口・世帯数についても、国勢調査の結果を掲載しています。」と回答・対応（案）を作成しております。

次に7ページです。「近年は、市町村合併はありません。南海トラフ巨大地震の被害想定は御前崎市ではなく静岡県が公表しているもので、第4次地震被害想定レベル2のケースです。」というご意見を頂いております。「御前崎市地域防災計画」について、「静岡県第4次地震被害想定（レベル2）」に修正するように回答・対応（案）に記載させていただきました。

続きまして、8ページ、9ページです。「このページにはBPA、Well-being、QOLなど、まだ一般化していない横文字やカタカナが多く、特に高齢の市民には内容の理解が難しい。」というご意見を頂きました。回答・対応（案）として「注釈として、用語解説を追加する。」としています。

次に9ページです。「再エネやインフラ導入にもゼロカーボンなど不可能に近いのになぜ目標とするのか？税金を投入してプロジェクトを実施すると思うが、その費用対効果が不明確ではないか？日本全体がゼロカーボンを達成した場合、単独での気温変化への直接的な影響は約0.01～0.02℃と推定されているが、そのために税金を使う事はおかしいと思う。“ゼロカーボンシティ”の宣言を取り下げた方がいいのでは？」というご意見いただきました。このご質問に対して、「ゼロカーボンシティとは、自治体が温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目指し、国の政策として推進されている取り組みです。地球温暖化の影響は、生態系、経済、生活基盤、インフラ、農業・漁業など多岐にわたり、今後さらなる進行が懸念されています。次世代に持続可能な地域を引き継ぐためには、費用対効果だけで判断するのではなく、社会的・環境的など多角的な視点から長期的な取り組みを行う必要があります。本市では、地域の強みを活かし、市民や事業所の皆さまの協力を得ながら、温室効果ガスの排出削減に取り組むとともに、温室効果ガスを吸収する活動についても推進し、ゼロカーボンシティの実現に向け取り組んでまいります。」と回答・対応（案）を作成しております。

続いて、10ページです。「“経営の視点”とは具体的にどのようなことを考えていますか。新たな財源として“使用済み核燃料税”を求めているかがですか。令和6年4月現在で柏崎市、伊方町、玄海町、薩摩川内市、むつ市などでは課税の実例があります。」というご意見を頂きました。回答・対応（案）として「“経営の視点”とは、できるかぎり収入を増やし、極力支出を抑えていくために、様々な財源の確保（交付金の活用など）を行うとともに、効果的な予算編成など、様々な行財政運営の工夫を行っていくことを想定しています。」と記載させていただきました。

11ページです。「御前崎総合病院に、高齢化に伴い生じるニーズに対して“介護医療院”機能を充実し、民間施設と連携することを提案します。病院の経営改善にもなると思われますので是非検討して下さい。」というご意見を頂きました。ご質問に対して、

「昨年度、第４期中長期計画を策定するなかで、「介護医療院」の活用も検討いたしましたが、市としては、「地域包括ケア病床」を活用していく方向で計画を立てております。」という回答・対応（案）を作成させていただいております。

続きまして、17 ページです。「第２次総合計画では入れられませんでした、《将来都市像》に「幸福度」というワードを入れられませんか。」というご意見いただきました。このご質問に対して「将来都市像は、市民アンケートや市民ワーキング及び職員ワーキングを行った中で、参加された方のキーワードを参考に作成し、策定委員会、審議会で議論を重ね策定しています。なお、市民アンケートにおいて、市民の「幸福度」についての設問を設けることを検討しています。」という回答・対応（案）を作成させていただきました。

最後に、18 ページから 21 ページです。「基本目標(1)～(7)のそれぞれで重点的に優先して何に取り組むのか明確にして、《将来都市像》をイメージできるようにして下さい。基本理念の“挑戦”・“共創”がありません。」というご意見を頂きました。このご質問に対して、「重点的に優先して取り組むべき事項については、「重点プロジェクト」として、基本構想とは別に定めます。基本理念の「挑戦」・「共創」については、将来像を実現するための姿勢（取り組み方）として示しています。基本目標は、将来像を分野に細分化した際に、どのような姿を目指すかについて記載していますので、「挑戦」・「共創」は、基本目標を実現するための姿勢（取り組み方）となりますので、明記していません。」という回答・対応（案）を作成させていただきました。

以上の意見に対して、このような回答をするように考えております。資料１の１ページ、８ページ、９ページの箇所において、注釈として、用語解説を追加すると説明しましたが、後日、用語の解説集を冊子の後ろにつける予定です。よろしくお願いします。

続きまして、資料２をご覧ください。

御前崎市総合計画基本構想（案）です。先ほどのパブリックコメントを含め、令和６年１１月２９日に開催された総合計画審議会、令和６年１２月１７日に開催された中長期計画共創特別委員会での意見、先週１７日に開催された策定委員会及び、各部においての修正箇所を踏まえ、今回の資料となっております。令和６年１１月２９日に開催された総合計画審議会以降の修正箇所について赤字にて表記しています。その箇所について説明させていただきます。１枚めくってください。市長のあいさつ文が入りました。

続きまして、１枚めくってください。左側のページの一番下ですが、これからのまちづくりへ向けての市長インタビューに防災・減災関係の言葉を追加し、全体的に言い回しを変更しました。

２枚めくってください。御前崎市の強み、魅力ですが、策定委員会時の意見を踏まえ、再調整いたしました。ここからはページがふつてありますのでページ数で言います。

２ページをご覧ください。策定委員会時の意見を踏まえ、赤字部分を修正しました。

	6 ページをご覧ください。第 4 章御前崎市を取り巻く社会情勢と課題「1 人口減少を克服し活気あふれる社会へ」ですが、審議会及び策定委員会時の意見を踏まえ、国動向のグラフ削除、また、女性の人口減の言葉の追加等、御前崎市の現状と課題を加筆修正し、若年層の人口動向と高齢者のみ世帯の推移のグラフを追加しました。 7 ページをご覧ください。防災・減災、国土強靱化で災害に強い社会へですが、策定委員会時の意見を踏まえ、国動向文章の修正、グラフの差し替え、御前崎市の現状と課題を加筆修正、特に原子力災害について加筆いたしました。また静岡県津波浸水想定を図を削除しました。 8 ページをご覧ください。中長期計画共創特別委員会及び策定委員会時の意見を踏まえ、御前崎市の現状と課題について加筆修正いたしました。特に課題の部分に触れていないとの意見があり、課題について追加しました。 9 ページをご覧ください。策定委員会時の意見を踏まえ、国動向の文章、グラフの差し替え、御前崎市の現状と課題を加筆修正、グラフの差し替えと、ゼロカーボンシティ宣言書の削除を行いました。 続きまして、11 ページをご覧ください。策定委員会時の意見を踏まえ、御前崎市の現状と課題について、交通に関する文章を修正、医療・介護に関して文章の修正と地図の削除を行いました。 14 ページをご覧ください。第 2 編基本構想ですが、以前は将来都市像、将来人口、基本目標の順番で表記していましたが、まずは将来人口の目標人口を設定してから将来都市像、基本目標の設定ということで、掲載の順番を将来人口、将来都市像、基本目標の順番に変更しました。策定委員会時の意見を踏まえ、文章の修正と、前回は御前崎市人口統計や国勢調査のグラフを使っており比較が難しいとの意見もあり、将来人口データを国勢調査に統一しました。 16 ページをご覧ください。策定委員会時の意見を踏まえ、図中の主体を整理、また関係人口の注釈を追加しました。 17 ページをご覧ください。策定委員会時の意見を踏まえ、将来都市像に「まち」を追加、また、将来像のイメージ図を差し替えました。 18 ページをご覧ください。策定委員会時の意見を踏まえ、基本目標、タイトルや文章を修正しました。 20 ページをご覧ください。策定委員会時の意見を踏まえ、タイトルを御前崎市の都市未来図から基本目標がめざすまちの姿に変更、将来都市像と基本目標の修正に合わせて修正しました。 修正箇所については以上となります。
会長	ただいま、事務局より説明がありました。まず資料 1 のパブリックコメントに対する回答・対応ですが、何か質問等ありますか。 よろしいでしょうか。ご質問等無いようなので次に行きます。

	続きまして、資料２の第３次御前崎市総合計画基本構想（案）について、何か質問等ありますか。
委員	ささいなことです、「安心と希望を未来へつなぐ」「人が」の間にスペースは必要ではないですか。
会長	スペースあけたほうがいいでしょう。ありがとうございます。 他にございますか。
委員	指摘する箇所はございません。

4 協議事項

(1)基本構想の答申について

会長	以前、市長より諮問書をいただいております。この基本構想が、これからの御前崎市市政運営の基礎となる計画として適切なものであるか判断する必要があります。皆さんのご意見をお伺いいたします。基本構想について、適切なものであると、認めるということによろしいでしょうか。（委員等うなずく） ありがとうございます。 諮問書に対する答申書を作成しなければなりません、私が答申書の案を作成いたしましたので、皆さんに見ていただき、修正や追加等の意見をお願いしたいと思います。事務局の方、すみませんが、委員の方にお配りいただけますか。読んでいただいて、意見を頂きたいと思います。 これを修正して、後日、市長に私から答申させていただきます。中身は今まで検討していただいたこれを持って、答申をするという方向にさせていただきます。 皆さんが真剣に一生懸命に考えてくださったご意見、ご質問を議員さんはもちろん、部長さん方に検討していただき、また、若い世代や市民の皆様からも意見をもらい作ってきました。そのため、いろいろな総意がここに凝縮されており、今回の計画は良く練られていると感じます。皆さまのご意見を頂きながら練り上げたものを具現化していけば、よい市になると思います。ありがとうございます。 後日、市長の方に答申させていただきます。 進行を事務局に返します。
事務局	今年度の審議会は今回が最後の審議会となります。これまで４回に渡りまして慎重かつ丁寧なご審議を賜り、誠にありがとうございました。 御前崎市総合計画条例第５条に「市長は、基本構想を策定し、変更し、又は廃止するときは、御前崎市総合計画審議会の答申の後に議会の議決を経るものとする。」と記載されております。本日の審議会におきまして基本構想についてお認めいただきましたので、２月議会に上程してまいりたいと考えております。 また、来年度は基本計画や重点プロジェクトの策定を行ってまいりますので、引き続き審議会でのご審議のほど、よろしくお願いいたします。

5 その他

委員	資料 6 の中で、過去 20 年間の農家の推移を示した図がありました。農業センサスは 5 年に 1 度実施されていて、平成 22 年から令和 2 年までの結果があります。平成 22 年には 3892 名いた農家が、令和 2 年には 1741 名となり、2151 名減っています。令和 2 年から 5 年後の現在の調査は、令和 7 年に発表になると思いますが、その次の令和 12 年には、この減り方からいきますと、農家がいなくなるのではないかと思います。 情報として頭の片隅に置いておいてください。以上です。
事務局	それでは以上をもちまして第 4 回第 3 次御前崎市総合計画審議会を終了いたします。本日は、ありがとうございました。

以上